

シリーズ 施設紹介

会員が所属する各施設を、順次紹介して頂いているシリーズです。
今回は、長岡西病院を紹介します。

医療法人崇徳会 長岡西病院

平原 智子

新潟県看護協会長岡支部の皆様こんにちは。皆様には日頃より、当院の事業に対しご理解、ご協力、ご指導を賜り深く感謝申し上げます。当院は医療法人崇徳会の病院として、平成4年5月1日に開設しました。今年で27年目を迎えます。第三者評価として「病院機能評価機構」の認定の他に「ISO9001認証」を取得し、患者サービスのためにPDCAサイクルを回し日々改善に努めています。

【医療法人崇徳会 経営理念】

私たちは、自分や家族、友人が必要なとき入院したい、通院したいと考えるような医療機関として、患者様の立場に立ち、患者様に信頼され、納得して頂ける良質な医療サービスを提供します。

【長岡西病院基本方針】

- ①地域医療と健診の充実：疾病の治療・予防・健康増進に取り組み地域の人々の健康づくりを目指します。
- ②リハビリテーションの推進：種々の医療機関、福祉施設や機能など地域社会とのネットワークを密にしながら治療、介護、在宅ケアまで考慮した質の高いリハビリテーション医療を目指します。
- ③緩和ケアビハラの実践：緩和ケア病棟「ビハラ」を開設し「いのち」の尊さを大切にされた安らぎの医療と看取りの実践を目指します。
- ④長岡医療と福祉の里の基幹病院として：関連施設の医療のサポートを致します。という4つの方針を目標として、多職種によるチーム医療を推進しています。



緩和ケア病棟の仏様
(宗教は問わず、無宗教でも)

【病院概要】

許可病床数：240床（回復期リハビリテーション病棟60床、一般病棟88床、療養病棟60床、緩和ケア病棟32床）
病棟単位：5
診療科：13科
職員数：408名（看護師129名）
施設基準：緩和ケア病棟7：1、一般病棟



10：1、回復期リハ病棟13：1、療養病棟20：1
一般外来から緩和ケア医療まで実践するケアミックスタイプの病院です。また関連施設には多くの高齢者福祉施設や、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム等多数の施設があります。

【看護部理念】

患者様とご家族が安心できる質の高いケアを提供することを目指しています。

看護部の基本方針は

- ①人間としての尊厳および権利を尊重すること
- ②チームの一員としての役割と責任を自覚し、自己成長すること
- ③病院の方針を理解し、目標達成に向かって努力することです。

当院は、特に高齢の患者さんや障害のある患者さんが安心して利用できる病院を目指しています。また急性期と地域や在宅の橋渡し病院としての当院の役割を果たせるように、地域の病院や関係機関との連携を密にして、地域包括ケアシステムに即したサービスを提供できるように日々努力しています。

さらに、終末期の患者さんであっても最後まで自分らしく生きぬくことを支えることを大事にしています。今後も看護実践を通して、看護師としても人間としても成長し、患者さんの信頼に応えられるようにみんなで力を合わせて進んでいきたいと思っております。



地域住民に向けた勉強会「三ツ郷屋学び舎」

三尺玉

新潟県看護協会 長岡支部

第55号 平成31年3月発行

平成30年度新潟県看護協会長岡支部会員数は3,240名です。
(平成30年10月10日現在)

長岡支部支部長の挨拶



立川総合病院 鈴木 美智子

新潟県看護協会長岡支部の支部長に就任して2年目になります。新潟県看護協会では、「地域包括ケアにおける看護提供体制の推進」「変化する社会ニーズに対応した質の高い看護を提供できる人材育成」「看護職の働き方改革の推進」「支部活動の推進による組織強化」の4点を重点目標として事業を展開しています。支部活動としても、この重点目標を達成させるため、新潟県看護協会と連携し活動を推進しています。その結果の1つとして、平成30年10月10日現在3,240名（昨年比+111名）と会員数も増えております。また、平成30年6月に開催された支部集会・特別講演会にも、多くの方に参加していただきありがとうございました。さらに、昨年同様、各職能委員会主催の研修も順調に開催し実施しております。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



第32回糖尿病を知るつどい

また、長岡支部の広報誌「三尺玉」の発行も、支部活動をより詳しく、会員の皆様に知っていただくために、今年度から発行の日程を変更させていただきました。



すこやか・ともしびまつり2018

支部活動も昨年同様に、地域のイベント（第32回糖尿病を知るつどい、すこやか・ともしびまつり2018、世界糖尿病デー長岡2018など）に参加し、地域の方々の健康の保持・増進に少しでもつながるよう活動をしてまいりました。

今年は、新潟県看護協会主催の新人看護職の交流集會に長岡支部の他、県央支部・柏崎支部とともに開催しました。多くの新人職員に参加していただき有意義な研修ができたと感じています。地域を越えた新人職員同士の交流もできたと思います。

さらに、新潟県では4年前より、看護職員の県内定着事業として、地域の医療・福祉・施設が協働してその環境づくりを推進してきました。長岡では、長岡圏域看護部長会が発足し、昨年より長岡支部として共催させていただいております。今年も、12月2日に「食べることの大切さ、あきらめない看護 part 2」を開催致しました。長岡圏域の看護職員が64名と多数参加した研修となりました。

このように、長岡支部としても地域の看護職員の確保・定着・資質向上と地域の看護職員との交流を深めながら、地域住民に細やかな医療サービスを提供していけるよう、今後も活動していきたいと考えております。

引き続き会員の皆さまからの御支援、御協力をお願い申し上げます。



食べることの大切さ、あきらめない看護part2

活動内容のご案内

保健師職能委員会

保健師職能委員長 長岡市和島支所市民生活課
西脇正美

☆保健師職能委員会活動目的☆

【会員相互の親睦を図り、情報交換を行いお互いの資質の向上に努める】

保健師の皆さん、保健師の仕事に悩むことはありませんか。どんなに経験を積んだ保健師でも、配属部署や業務、周りの環境によって保健師としての自分や活動に迷ったり、つまづくことがあると思います。

保健師の仕事は、地域や住民から常に学び続けるものであり、対象者や地域によりいろんな形や色になります。答えやゴールがあるようでないので、何年経験しても新しい発見ができる楽しさ、そして大変さがあるのではないのでしょうか。

それぞれの保健師が自分らしく活動していけるとよいですね。

今年度の保健師職能研修会は、保健師自身のこころとからだを癒す時間になりたいと思います。ハーブティーを飲みながら、アロマでゆっくり癒され、自分のこころとからだのつながりを体感していただく予定です。住民に寄り添う保健師を目指して、セルフメンテナンスも大切にしていきたいと思います。

●保健師職能研修会

日時：平成31年2月23日（土）10：00～11：45

会場：アクアレー長岡

内容：講演『ほっ♥とケア ～アロマとハーブでリラックス～』

講師：ハーブ談話室 長澤 喜美 様



●その他

「すこやか・ともしびまつり2018」への協力

助産師職能委員会

助産師職能委員長 小千谷総合病院
山賀律子

私たちは、「自律して助産ケアを提供できる助産師」を目標に日々活動しています。

今年度から他支部との情報交換・連携を深めるため、県央支部と合同で活動を行っております。

今年度の研修会は、産科領域における専門的能力獲得への支援とスキルアップを目標に、周産期のメンタルヘルス（小児科医の立場から）について開催し、施設助産師だけでなく日頃妊産婦・新生児訪問や乳児健診等に関わる開業助産師や保健師、小児科外来看護師にも声をかけ、総勢57名の方から参加していただきました。

精神疾患に関する基礎知識や気になる妊産婦から特定妊婦までの対応と、その後の地域との連携、チームで関わることの大切さなどについて、実践に活かせる内容となりました。

●助産師職能研修会

日時：平成30年11月17日（土）14：00～16：00

会場：立川総合病院 3階 講堂

テーマ：周産期のメンタルヘルスケア～「気づく」、そして「つなぐ」～

講師：新潟県立吉田病院 小児科・こころの診療部 仁田原 康利 医師



●その他

「すこやか・ともしびまつり2018」への協力

看護師職能I・II委員会

看護師職能I委員長 悠遊健康村病院
吉井 奈々子
看護師職能II委員長 長岡療育園
大山 奈緒美

看護師職能委員会では、平成30年12月8日に看護師職能I・II合同で研修会を企画し開催しました。69名の参加がありました。

新潟県看護協会の重点目標の一つに「地域包括ケアにおける看護提供体制の推進」と掲げていることから、高齢者総合ケアセンターこぶし園総合施設長の吉井靖子様を講師にお迎えし、「地域包括ケアシステムを正しく理解する～看・看連携を考える」をテーマに講演会とグループワークを行いました。

講演では、地域包括ケアシステムが推進された社会的背景や概念など大変詳しく説明頂きました。地域包括システムについて理解を深めることができ、また多職種との連携の重要性を再認識する機会にもなりました。

講演後のグループワークでは、「今、私たちにできること」を話し合いました。グループワークの時間



が40分程度と短時間ではありましたが、各グループ内でそれぞれの視点からの現状や疑問、要望なども含め、積極的な話し合いがなされました。今回は病院や施設勤務の方だけでなく、診療所やクリニック勤務の方からも参加していただきました。地域包括ケア推進に重要な「顔の見える関係作り」のきっかけになったのではないかと思います。

研修後のアンケートでは、講演・グループワーク共に高い評価を頂きました。今後もこのような機会を設けられるよう、看護協会での研修の企画を行っていきたく思います。今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

●看護師職能I・II研修会

日時：平成30年12月8日（土）13：30～16：00

会場：長岡療育園

テーマ：地域包括ケアシステムを正しく理解する～看・看連携を考える

講師：高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長 吉井 靖子 様

●その他

「すこやか・ともしびまつり2018」への協力

2019年長岡支部通常集会

開催日：2019年6月29日（土）

場所：立川総合病院 講堂